



令和4年度 WEB 版

発行：仙台市立学校事務研究会

# 杜の風

68号

編集：広報部

■ 荒井小学校・四郎丸小学校訪問 ■



■ 東北大会報告 ■

■ 編集後記 ■

## 荒井小学校訪問



令和2年4月に、仙台市で128番目の小学校として開校された

荒井小学校を広報部で訪問してきました。ご丁寧に対応してくださった

渡辺事務長さん、ご協力ありがとうございました！



## 玄関

最近流行りの事務室がお出迎えするタイプ  
(インターホンは職員室で鳴るそうです)



## 廊下



中に入つてまず思ったのが  
廊下がとっても広い！  
仙台市内でも上位の床面積だそう  
子ども達も広々過ごせそうです

木材にもこだわり、木のぬくもりを  
大切にしているとのこと



## 教室

廊下が広い分  
教室は少し狭めですが  
備え付きの収納が多く  
綺麗に整頓されています  
(見習いたい…)

Jフックも各教室に初期装備されています

2段目は奥まった作りになつていて  
さらに使いやすそう♪





窓はすべて強化ガラス  
通常より大きめに作られています

(割れると修理代がかさむとか…)

渡辺事務長の何気ない一言から  
至る所に談話スペースが！

子ども達の青春の思い出と  
なっていることでしょう♪



## 階段

階段にコンセントを設置し、掃除機が使いやすくなっています  
技師さんから好評だそうで、とても粋な計らいです！



## エレベーター

憧れのエレベーターも  
しっかりとついています

業者さんが大喜び😊



# 理科室



# PC室



渡辺事務長が緑推しだそうで、各部屋のアクセントカラーになっています  
自分の好きな色を自由に使えるのは、新設校ならではですね

各特別教室に準備室があるのではなく、隣り合った教材室でまとめて  
備品を管理していたのが、便利そうで羨ましいです



# 図書室



広報部イチオシの図書室は  
図書館かと思うほどの広さ

開放的な空間は  
ついつい長居してしまいそう



タイムリーなワールドカップコーナーもありました  
図書事務さんの気合いを感じます

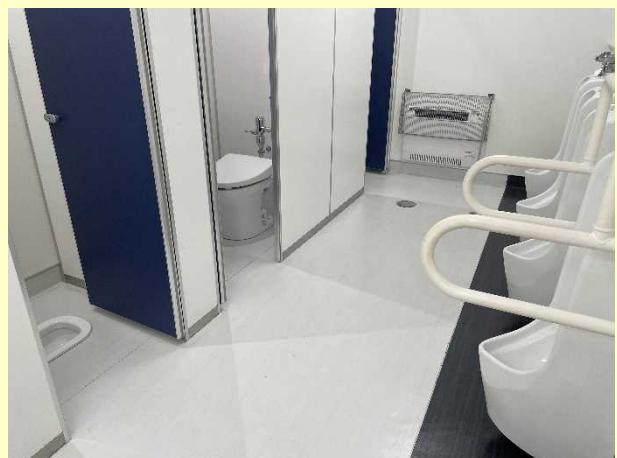
# 多目的室

多目的室は扉が全部収納でき、廊下と合わせて  
広く使用することができるそう✿



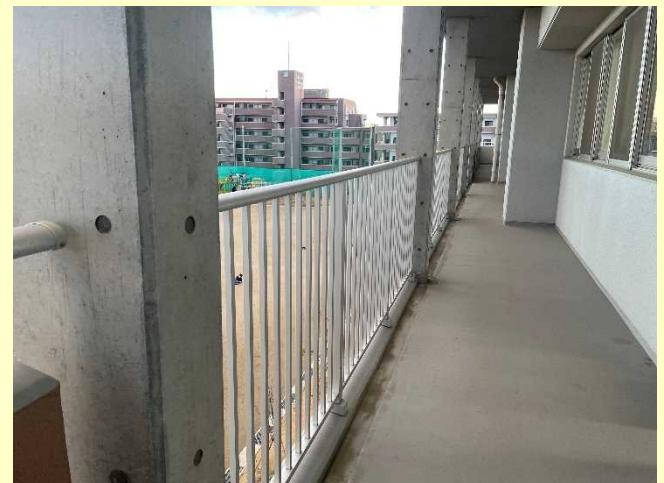
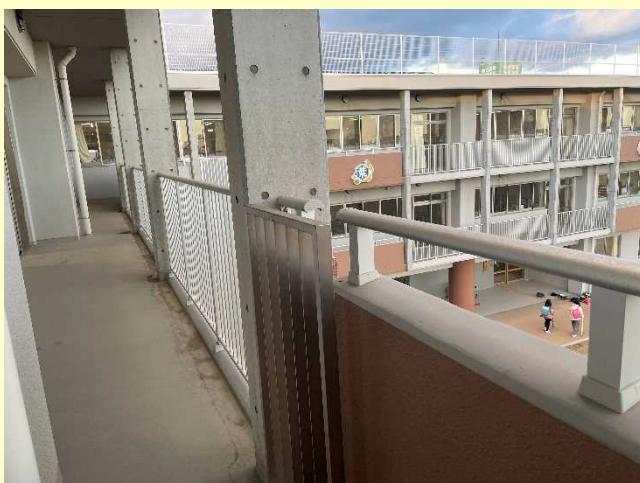
# トイレ

イマドキの学校は和式より洋式が多いようです  
そして温かい便座… 私立みたいだ…



# ベランダ

ベランダはぐるっと一周することができます  
避難経路にもなっています。安全もバツチリ凸



# 体育館

教室のフロアから直結している体育館は2階の廊下から様子を伺うことができます



新設校の事務さんを悩ませるこちらの校歌版は地元の業者さんがお手頃価格で作成してくださったとのこと地元の愛を感じますね✿

作詞が「荒井のみんな」になっているところも素敵です◎



## 荒井ファーム

校長室の真上にある荒井ファームは季節の移り変わりを表現してくれます

収穫された作物は給食に登場することもあるそう



# 印刷室

こちらも収納が多くてとてもわかりやすいですね  
先生方の仕事の効率化に繋がりそうです



# 事務室

現在は伊藤会計年度任用職員と2人で使用しているとのこと

書庫が大きくて使い勝手がよさそう！  
現物を見るまで大きさを何度も確かめて購入したとか



事務室前の  
案内図もカラフルで  
見やすいです

校舎はL字型の作りに  
なっています



# 渡辺事務長にインタビュー

## ① 準備校(七郷小)ではどのような準備をしていましたか？

備品や消耗品の選定、保管転換品の選定・搬出入計画、プレハブ校舎解体準備と様々な仕事がありました。普段の業務と同時並行なのでとても大変でした。

## ② どのくらいの時期から引っ越し等の準備をしていましたか？

計画は2年ぐらい前から少しずつ進めていましたが、具体的な物品の選定やラベル表示等は、当該年の3月だったと思います。

## ③ 学校配置図等のコンセプトを教えてください

- ・ベランダが一続きになっていて、避難経路として活用できる
- ・校舎2階に「荒井ファーム」があり、野菜の栽培を行える
- ・校庭に12種類の桜があり、長い期間様々な桜を楽しめる(10年後?)



## ④ 新設校ならではの特別な仕事はありましたか？

- ・図面を読み取り、立体化すること
- ・異動者や書類等のデータ移行

前年度の書類がないため調査物への対応もとても時間がかかります。

## ⑤ 新設校で勤務して良かったと思うことはありますか？

- ・校歌も、掲示物も、陳列物もない「0」から新しい荒井小学校の歴史をつくるという貴重な経験ができたこと
- ・2年目以降の人事異動事務が少ないとこと
- ・新規備品や廃棄備品が少ないとこと
- ・木製品が多く使われていて、柔らかく温かみのある感触と、木の香りでリラックスできる。

## ⑥ 開校してすぐに壊れたところなどはありましたか？

木製品が多いのは良いことばかりではなく、乾燥時期には教室ロッカーの化粧板がはがれ、湿った時期には木が膨らみ扉の開閉ができなくなったりで、そのたびに大量の手直しを業者に依頼しました。

## ⑦ 最後に、何が一番困ったかなどの裏話を教えてください

この時とばかりに、普段来ない業者が頻繁にきて、時間を取られました。

開校年の3月は、ほとんど荒井小学校勤務のような状態で、離任のあいさつもできずに異動してしまったのが心残りですが

今年、七郷小学校のお手伝いにいく機会があり、少しずつ恩返し気分です。



素敵な校舎を案内していただき、貴重なお話まで伺うことが出来ました  
お忙しいところ、本当にありがとうございました

# 訪問！四郎丸小学校

令和4年度より新校舎となった注目の四郎丸小学校へ訪問してきました。  
小林主任、お忙しいところご協力ありがとうございました。



「あの建物はなんだろう…」  
フォトスポット探しの若者がふらりと  
やってきそうなお洒落な外観！

きっと中もお洒落なことでしょう！  
気になる校舎内へレッツゴー！



## 昇降口



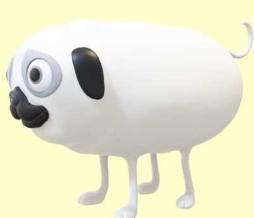
ガラスには「四」を  
モチーフにしたマークが！

生き物の観察スペースがありました！珍しい！  
ウーパールーパーにご挨拶して校舎見学へ



おじゃまします。

いらっしゃい。  
どうぞ~





木のぬくもりが感じられて  
優しい気持ちになれるそう！

『見える化』のため扉が  
透明ガラスになっている  
そうです。

カーテンの色と児童用椅子  
の色が合っていてかわいい  
ですね！

## 階段

『青空階段』『夕焼け階段』とそれぞれの階段に名前がついており壁紙が色分けされていました。  
児童の衝突や混雑を避けられそうですね。素晴らしい工夫です！



『青空階段』  
13:10～13:35  
下り専用



『夕焼け階段』  
13:10～13:35  
上り専用





## エレベーター

白がベースのきれいなエレベーター。  
粗大ごみ回収の際もこれがあれば、  
各教室からの移動も楽だろうな～

ちなみに右側の柱には1階～3階の  
教室案内図があります。  
初めて来た人でも分かりやすいですね！



## 校長室

なんと校長室も撮影の許可をいただきました！  
テーブルや椅子が黒やダークブラウンで  
重厚感がありますね！  
秘書さんがいてもおかしくない雰囲気…



児童用は  
ガスコンロ



教師用はIH  
とのこと



ふたは脇に  
しまえるように  
特注したそうです  
便利！

## 家庭科室



ウキウキした気分になれるポップなカラー！

## 事務室



## 印刷室



どちらも中央に机があり部屋のどこにいてもすぐに作業ができるように動線がうまく計算されていました。これぞアイランドキッチン方式？憧れる～♡

## 保健室

清潔感がありますね！

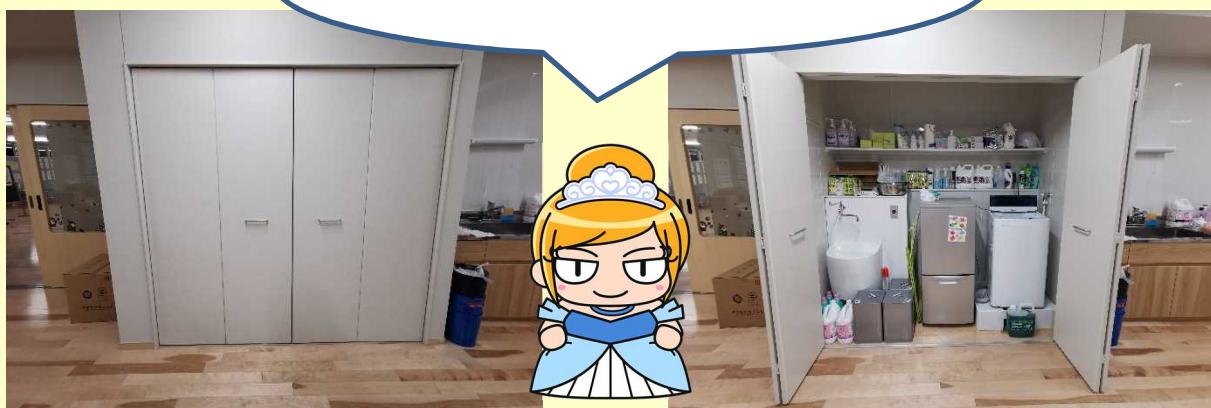
机椅子もあるし、シャワーもベッドもある…  
こんなに設備が整っていたらここで暮らせ  
るかも？！

そして広報部全員おどろき！

なんと保健室の水回り関係、洗剤等が  
収納にひとまとめになっていました。  
中もきれいに整頓されていましたが扉を閉められると尚、部屋がきれいに見えますね。



オ～、シンデレラフィット！！





教室を紹介してきましたが  
魅力たっぷりの廊下もご紹介。  
梁見せ天井！  
きれいな木目の床！  
和モダンなテイストの教室壁！  
もうどんだけ～おしゃれすぎ～

廊  
下



珍しい白の掲示板。  
シンプルだからこそ  
こどもたちの作品や  
掲示物が映えそう  
ですね。



各階の案内図も  
とても見やすい！



## 多目的室



## 生活科室



多目的室と生活科室は扉を開け閉めすることで広い空間としても各部屋にすることもできるよう  
です。活動内容によってスペースの広さを変えることができるるのは便利ですね～

## 音楽室

チョークの粉がピアノに飛んでしまわないようにホワイトボードにしているそうです。  
新校舎ならではの素晴らしい配慮！

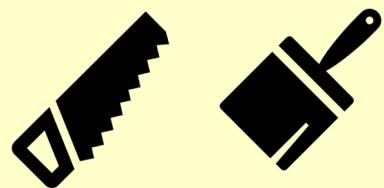


教室のアイコンがかわいいですね！



## 図工室

創作意欲がどんどん湧いてきそうですね  
こんな部屋があったら休日は DIY に  
ハマってしまいそう…



## トイレ

どこかのオフィスビルみたい…  
教室や廊下のような木のぬくもり  
を感じる仕様もいいですが、  
こんなスタイリッシュでかっこいい  
仕様もいいですね。  
きっと「きれいに使うぞ！」という  
気持ちが芽生えていることでしょう。





## 図書室

あれ？図書館にいたっけ？！と錯覚してしまいました。  
置スペースがある図書室なんて他にあるのでしょうか…  
椅子に座ってじっくり読書。  
置で足をのばしてゆっくりと。  
その日の気分で読む姿勢や場所を変えることができると嬉しいですね。  
本にふれるきっかけが沢山の図書室うらやましいです！



## 会議室

ホワイトボードが数台あるので、内容を記入して全員で共有しながら会議を進められそう！  
校内の会議だけではなく、校外の方との打合せにも使えそうですね。  
なんだかビシッと引き締まる気持ちになったのは私だけでしょうか？



## 中庭

旧校舎がまだ残っており、校庭が使えないため、中庭があるそうですが休み時間になわとびやおにごっこ、フラフープなどをして遊んでいるそうです。

中庭のある学校は少ないと思うので、ここで遊ぶことは貴重な体験になりますよね！

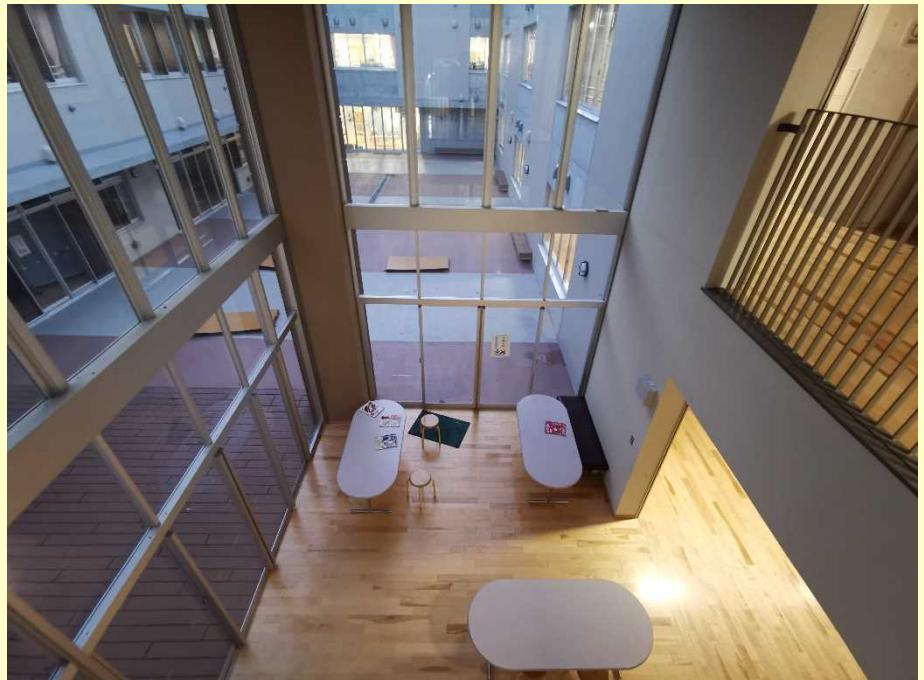


ところで夏の金曜ロードショーといえば「時をかける少女（アニメ映画）」でしょ！と個人的に思っているのですが、皆さんご覧になったことはありますか？高瀬くんが消火器を投げるシーンの中庭を彷彿とさせる！と一人で盛り上がっていました。笑



## ホール

このお洒落スペースはなんだ！？  
コーヒー片手にくつろいでいたら  
気になるあの子と目が合って…  
「輝いたのは鏡でも太陽でも  
なくて君だと気付いた♪」  
なんて Love so sweet な出来事  
が！  
キャッ(〃'▽'〃)  
青春時代はあっという間なので  
こういうスペースがあると思い出  
が増えそうですね！



# 小林主任にインタビュー



① 建設委員会立ち上げから校舎完成までの経緯を教えて下さい。

A. 令和2年12月に学校施設課より今後の予定の連絡があり、令和3年2月より業者・教育委員会・学校を含めた定例会が毎月行われ、工事の進み具合やお互いの要望を話し合うようになりました。学事課より予算がきたのは令和3年4月7日付で締め切りは令和3年7月30日まででした。

② プロジェクトチームなどを作って他校に内見などは行きましたか？

A. 校長・事務・技師の3人で前年度に出来た大和小へ行きました。

③ 旧校舎から改善点などを挙げ変更した点はありますか？

A. 校庭中庭があるので、そこで子供たちが遊べるように床をゴムチップ系で要望し、色のグラデーションで線が引いてあるように見えるように工夫してもらいました。

④ 旧校舎で不用になり廃棄したものはどのくらいの数がありましたか？

A. 児童用机・椅子はかなり古かったのでほとんど廃棄し、予算の範囲内で購入した備品については新しくしたので予想を上回るかなりの廃棄物が出ました。

⑤ 粗大ごみの処理方法やノウハウを教えて下さい。

A. 学事課で年1回行う粗大ごみにあわせて、3年前くらいから夏休みの備品整理で職員作業として行っていました。

⑥ 新校舎の児童、職員の反応を教えて下さい。

A. 今までの校舎や備品が古すぎたため、校舎すべてが明るくてきれいと感動していました。

⑦ 新校舎で働けて良かったことはありますか？

A. 明るくてきれいな校舎なので、自分の気持ちも明るくなると思います。

⑧ 新校舎での最初の仕事はなんでしたか？

A、忙しかったので覚えていません（笑）

⑨ 学校配置図等のコンセプトを教えて下さい。

A、ある程度は設計業者が一般的な配置で作成しています。  
震災を踏まえて設計をしていただいていると思います。  
(設計業者でいろいろな考えがあると思います)

⑩ 開校してすぐに壊れたところはありましたか？

A、雨漏りや鍵がかかる等のトラブルがかなりありました。  
まずは施設課に報告して指示を受けます。約1年は修繕費がかからず無料でメンテナンスがあると思います。

⑪ 校舎の配置決め等の経緯を教えて下さい。

A、ある程度は設計業者と施設課が計画をして出来上がった図面で学校に降りてきます。  
図面が出来上がった頃に要望を出せば変更も可能ですが、ある程度進んでしまってからの部屋の変更は難しいと思います。

⑫ 備品の購入などの選定、予算配当の内訳はどのようなものだったか教えて下さい。

A、学事課より予算の提示があり、校用・教材備品の選定を学校に任されます。  
締め切りまで3ヶ月ありましたが、年度初めの時期だったので学校教職員等から出来るだけ要望を取り入れたり、業者に見積もりをお願いしたり…などやらなくてはならないことがたくさんありました。通常業務を行いながらだったので、とても大変でした。



素敵な校舎のご案内や貴重なお話など  
お忙しいところ、ご対応していただき  
本当にありがとうございました！

# 第24回 東北地区公立小中学校事務研究大会福島大会に参加して

根白石中学校 小野 壱晴



## ①福島県

東日本大震災の被災地の学校事務職員として学ぶべきこと  
～弱みを強みに変えた「若手育成研修」や「防災研修」を通して～



・福島県の発表では、若手事務職員の比率が高い上に学校間の距離も遠い、という問題点解決のために実施している「若手育成研修」の工夫点などについて説明がありました。

「Google Meet」や「ふくしま教育クラウドサービス」といった教育委員会が推進する ICT 機器を活用したリモート研修や支援ツールを使い、若手学校事務職員同士の意見交換を頻繁に行い、知識や意識の向上を図っているとのことで、仙台市でも現在行われている学校間事務連携事業に共通している部分も多くあると思いました。さらに、上記の ICT 機器を利用し、複数人で協力して「産休・育休フローチャート」や各業務の詳細な説明が書いてある「業務説明シート」などの資料作成をし、それを県全体でも利用できる仕組みになっているという話を聞き、教わるだけではなく自分たちでアウトプットすることで、若手の知識定着にも繋がりこのようにして若手が育っていくのだとも感じました。仙台市でもこのような協同事務を各学校間で行うことでよりよい若手の育成、業務改善に繋がっているのではないかと強く感じました。

そして被災地校として「防災」についても発表をしていました。東日本大震災の教訓から学校防災について考える機会が欲しいという学校事務職員の声から実現した「防災研修」。

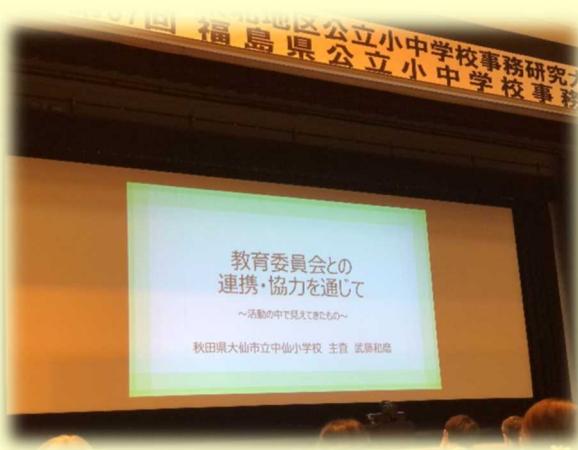
各市町村の教育長、各校の校長講話や被災校の現地見学などを通じて日頃から防災についての意識を高める。震災後、各町村で学校が再開しているものの、震災前と比べ児童・生徒数は大幅に減少している（ある学校では震災前 1,773 名の児童・生徒数が震災後 37 名まで減少した）こともあり、他校との遠隔授業や地域交流型の行事を増やしているとのことでした。あの日の経験を自分たちにどう活かすか、「学校事務職員」としてではなく「学校で働く一人の職員」として自分が働く土地について学び、深く考えることがいかに重要であるか私自身とても考えさせられました。「人と人との繋がりを大切にしながら仕事をしていきたい。そして、この環境で学んだその土地を理解し、地域に寄り添った学校事務職員像を目指していきたい。」発表者の最後の一言が深く印象に残りました。

②秋田県  
教育委員会との連携・協力を通じて  
～活動の中で見えてきたもの～

・秋田県の発表では小中学校事務連絡協議会という組織の詳細について説明がありました。秋田県の事務局の業務としては、研修会の開催準備、マニュアルの作成・更新の依頼、事務連絡の作成、情報提供といったものが主な業務であり、このほかにも市教育委員会や市役所の関係各課、市内全小中学校の事務職員との交渉窓口としての役割があるとのことでした。マニュアルに関しては、全員がアクセス可能なフォルダへ常置しており、様式の変更等があった際はその都度更新しているとのことで仙台市の「がいだす」によく似ているシステムだと感じました。

また、事務連絡の発信ということで、日々の業務内で起こる小さな疑問を解消するために、情報提供や事務連絡の補足、注意喚起などを管内全小中学校へメール送信する業務の説明もありました。令和2年度は41通、令和3年度は44通となっておりおおよそ週に1度のペースで発信しているとのことです。市教委などへの個別の質問も一旦集約し、事務局が代表して問い合わせることで、市教育委員会職員と学校事務職員双方の業務の効率化にもなっているとのことでした。このように事務局から集約した問い合わせに市教育委員会職員が回答するという仕組みが完成されれば、業務改善の一つに繋がるとも思いましたが、急を要する場合や仙台市全体で出た質問を集約する業務は事務局の負担が多く、実現するためには解決しなければならない課題もたくさんあるのではないかと思いました。

ただ、やはり私も分からぬことをつねづね市教委の方に問い合わせることは多々あり、また市教委の方も同じような質問を複数校から受けることが多々あるとのことで、仙台市内全体とはいかなくとも、学校間事務連携のチーム内のような小グループで少しずつ同様のことができれば双方の業務負担の軽減に繋がるのではないかと思いました。



市教育委員会と大きく関わりを持って行った活動の中で主だったものとして、私費会計専用会計ソフトの導入と修学旅行キャンセル料等補助金の制定の2つについて説明がありました。

このように現在、秋田県では学校事務共同実施が盛んに行われており、グループリーダー会が窓口となり、市全体的な課題解決にあたることが多くなったようです。「協議会として、その時代、その環境にあった活動を見いだすことが大切だと思う。」これは、私たちにも通じることがあると思います。

③山形県  
学校事務職員の基盤を創る初任者支援の在り方  
～現行の支援体制と実際の声から考える若手学校事務職員が望む姿とは～

・山形県では大きな世代交代の時期を迎える中、充実した支援体制の整備を目指して行われている初任者支援と個人実践について紹介していました。

学校事務職員の専門的な能力を積極的に活用し、天童三中学区5校の事務職員が共同で学校事

務を実施したり、相互に支援したりすることで、効率的・効果的な事務処理体制の確立と事務機能の強化及び事務職員の資質向上を図ることを目的に、令和元年度より「モデル校における学校事務の連携・共同実施」が始まりました。内容としては月に一回、共同での「事務だより」の作成や、市費予算要求内容の共有化などがあります。

また、初任者支援として、初任者校への学校事務職員派遣についての要項を定め、支援体制を整備していました。「初任者支援名簿」を作成し、業務内容別に担当者を割振ることで、一人だけに業務負担が偏らないようにするだけではなく、初任者自身も業務の相談や質問を誰にすれば良いかが分かるため、互いにより良い体制を整えることができたそうです。

個人実践に関しては、採用2年目の職員が行ったもので旅費に関するマニュアルが作成から10年以上が経過し、情報の更新が止まっていたことをきっかけに、「新規採用職員のフォローアップの一助になるように作る」「先輩事務職員の経験を可視化し、曖昧な部分をなくす」ことを目的に始まったそうです。

教育事務所の方や、先輩事務職員と何度も確認し、最新の情報に修正することに成功し、より初任者にも分かりやすいマニュアルを作成できたそうです。

このマニュアルは、地区の事務職員に配布するだけではなく、山形県公立小中学校事務職員研究協議会の専門部が企画した、各地区・会員個人の実践や研究を募集する取り組みに実践紹介として発信し、県内の事務職員へ配布もしており、各地から感謝の言葉や意見が届き、マニュアルが配布した学校の事務職員に根付いていることを実感できたそうです。

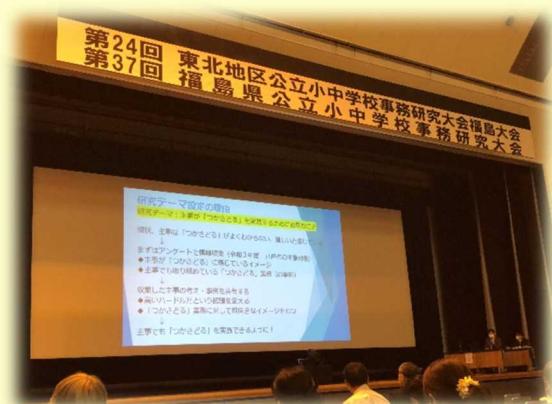
また、若手事務職員へ初任者支援体制に関するアンケートを配布し、それらからみる若手事務職員の声や今後の課題について深く発表をしていました。



#### ④青森県

主事が「つかさどる」を実践するために必要なこと

・青森県では、平成29年4月1日の学校教育法改正から、学校事務職員の職務規定が、「事務に従事する」から「事務をつかさどる」へと見直されたことを受け、この改正は自分自身でも関心を持たなければいけない重要なものだと感じ、「つかさどる」について勉強と情報収集を始めたことについて発表がありました。『今の学校事務職員には、学校を取り巻く環境に変化し、学校事務職員にしかできない仕事、いわゆる専門性を身に付け、事務をつかさどるものとして、主体的に学校運営に参画していくことが求められる』とし、八戸市の主事を対象としたアンケートを実施し、それらに対しての私見や解釈等を述べられていました。

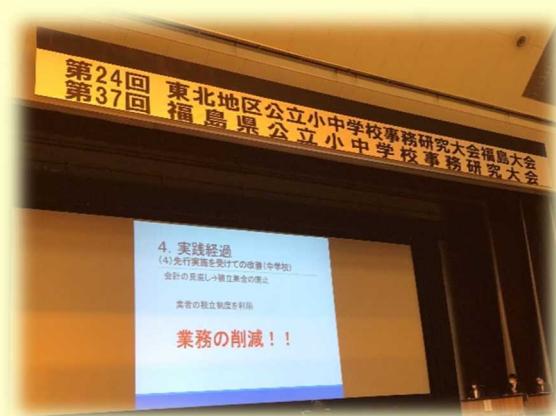


特に印象的だったのが、主事が取り組んでいるつかさどる業務を共有し、普段取り組んでいる業務がつかさどるであると自覚することを意図した「学校事務職員として取り組めている つかさどる に関連した業務があれば入力してください」という設問に対し、次年度の予算や教材備品選定に活かすために教育課程編成会議に参加していることや、学校全体の各予算の見直しと集金方法の変更といった学校納入金業務関係、適切な事務処理についての情報発信といった事務だよりの発行などが挙げられていたことです。

このような、日常業務、各取り組み（教員の負担軽減対策、事務処理改善、会議への参加等）が「つかさどる」に関連した業務になっているのではないかという意見が多くあったようです。

発表者の方は「つかさどる」の最終目標を「事務職員が責任と権限を持って主体的に校務運営に参画していく、その成果を教職員、児童生徒、保護者、地域等に還元すること」としており、私たちが普段何気なく行っている業務についてもその一端を担っているのだと、私自身再認識することが出来ました。

『これからは、まずは事務職員内、勤務校内の管理職、教職員と「連携と協働」について相互理解から始めることが、主事が「つかさどる」を実践するためのキーワードだと思う。子どもの豊かな育ちを支援する学校事務職員になるために自分にできる「つかさどる」業務に取り組んでいきたい』と最後に述べられており、「つかさどる」という言葉を深く理解し切れてなかった私も、まずは基礎的な法令、事務処理についてなどの総務・財務等に関する知識をより一層、根拠として示せるように勉強し、研修会への参加や学校間事務連携事業を通じたOJTなどから出来ることを少しずつ取り組んでいきたいと思いました。



## ⑤岩手県

子どもの豊かな育ちを支援する学校事務の実現を目指して  
～えがおプラン 2020～2022 の取組から～

・岩手県では、実践力を高める研修活動として、課題解決と学校運営参画を意識した目標達成シート「えがおシート」により、目標・現状・手段を可視化する取り組みについて発表がありました。

発表校では、「保護者や教職員の負担軽減」と学校経営参画への一步になる「安心安全な環境づくり」に着目し、児童生徒に現金を持たせることによる紛失や盗難の危険性、集金日に合わせて現金を準備しなければいけない保護者の負担、教職員が現金を扱うリスクや朝の忙しい時間帯に集金業務を行う負担といった問題解決を目標に、口座振替とオンラインでの支払への移行、それに伴う校内処理体制の構築にチャレンジしたそうです。

ただ、集金方法を現金から口座に変更するのは単年では難しいと考え、3カ年計画で段階的な導入をしていました。その過程としては、1年目に中学校で保護者へのアンケート調査を実施し、その結果を受けて口座振替のシステムの導入・校内整備を実施。2年目は中学校が先行して口座振替での集金を開始し、その中で見えてきた改善点や準備の流れ、導入後の実際流れについて中学校区内3校で情報交換を行う。3年目では、小学校2校が口座振替の導入を開始し、支出

もオンラインによる送金を行うことによって、可能な限り現金を扱わない集金体制を整えた。という流れでした。

なお、1年目に行った中学校での保護者向けアンケートでは口座振替の導入に賛成が70%、反対が30%だったとのことです。

当初は、収納率が下がるのではないかという懸念もあったそうですが、実際には保護者の理解もあり、未納が発生しなかったそうです。また、口座振替に移行するにあたり取り扱う会計の見直しも図ったそうで、入金の手間や通帳管理の点から積み立て集金を廃止し、旅行業者による旅行積立制度を利用することで会計自体をなくし、業務の削減を実現していました。

この取り組みにより、各校とも管理職や先生方から「集金に関わる業務が楽になった」「朝の忙しい時間帯に現金を扱うことがなくなり負担が減った」との声が上がっており、問題改善することができたと感じられました。

まさにこのような教職員の負担軽減に繋がる業務は、先ほどの青森県の発表にあった「事務をつかさどる」に繋がっているのではないかと感じました。

今後の課題として、各金融機関において口座振替のシステム利用手数料などの値上げが見込まれていること。状況の変化に応じた集金業務改善に取り組んでいきたいとされていました。

## ⑥宮城県

### 石巻地区小中学校事務研究会第VII期研修計画について

・宮城県では、「時代の変化に対応し、自ら考え方行動できる学校事務職員を目指して」という研究テーマについて発表がありました。

「今日の学校現場では学習指導要領の改定や働き方改革を含めた業務改善などこれまで経験したことのない課題が山積みであり、一人一人の事務職員が自ら行動し、「チームとしての学校」の一員として学校経営に参画しなければならない」と考え、上記の主題設定になったとのことでした。

具体的な研修として

1. 共につくる子どもの未来（組織マネジメント）
2. 心や体をととのえる（メンタルヘルス）
3. 学びの場を支える（教育課程、学校予算）など 10 個の研修項目を立て、3 力年計画で研修していくとのことです。

研修会は年間4回（半日1回、全日3回）の研修会を予定しており、必要に応じて専門部研修会を開催し、各専門部の目的を達成すると共に、会員相互の情報交換の場を設けることを企画しているとのことです。

また、新会員研修会の活動として、先輩事務職員が実践してきた「こんなときBOOK」、「石巻管内文書分類表」「学校事務のPDS（事務部運営計画）」「各種PCソフト」を継承するための研修もあるようでした。

「学校の働き方改革が求められている中、研究会活動を行うことにより個々の負担感が増加するという意見もある。しかし、学校で一人職である学校事務職員が、学校で孤立することなく各々の業務を遂行するためには、共同実施組織の支援が必要である。学校事務職員の職務内容が「事務をつかさどる」に変わったことにより私たち学校事務職員を取り巻く環境整備が整って3年が経過するが、私たち個々の悩みや課題は、これまでと変わりなく存在しており、それでも

日々の業務を重々と進めなければならない。そのような悩める学校事務職員を研究会活動により支援しながら、学校事務をつかさどる事務職員を一人でも多く研究会として育成していきたい」と述べられていました。

## 感想

- ・研究大会自体はもちろんのこと、研究大会後に「ジムコネクト」と題して、名刺交換アプリ「PiQy」を用いた交流会があり、様々な方と情報交換ができたのもすごく良かったです。まじめな話も碎けた話もできだし、直接会場の雰囲気を体感できたことはとても貴重な経験でした(^\^\)福島県の広報で「ガジなびINDEX」という福利厚生等をまとめたサイトを運営していて、Google検索で見ることができる such なので興味のある方は是非調べてみてください(\*^\_^\\*)



## 編集後記

・World Cup いや～痺れ散らかしましたね  
夢を見てくれた SAMURAI BLUE のメンバーに心から感謝です  
2026 年俺も同じ舞台に立てるよう、退勤後に特訓します  
とりあえずイナズマイレブンの「ド根性バット」あたりからチャレンジします

ムゲンザハンドで仕事したい

校内巡視をしている 1 年生に「先生ランボルギーニって知ってる？」と聞かれ  
「カッコいいよね！」と言ったら「じゃあ買えばいいのに」と。  
ごめんね、先生そんなにお金持ちじゃないの。  
そして君もランボルギーニが欲しいなら、授業はちゃんと受けようね。

ドレミ

いつの頃からか寒さが身に凍みるようになり、より一層春を待ち望んでいる今日この頃です。

虚弱体质

年末年始、3 年ぶりに飛行機に乗りました。車を使わないと日中関係なくアルコールを嗜むことができるのが最高です。搭乗前から駆け付け 2 杯。ほろよいで旅に出かけました。  
飛行機内では映画「キングダム II」「あきらとアキラ」を見て、京都も大満喫できました♪  
天橋立に高速バスで行こうと計画していましたが、予約がないと乗れない。ということが乗り場まで行ってから判明し、翌日に JR で行くことに変更（金額は約 2 倍。）即、チケットを購入。ヒヤッとするもありましたが、久しぶりの旅行に家族みんなで楽しめました。

念願の貴船神社に参拝でき感動 ☆

以前話題になっていたけれど見逃していたドラマを一気見するのにハマっています。  
最近見たのは『おっさんずラブ』です。  
なにより吉田鋼太郎さん演じるおっさんヒロイン黒澤武蔵が仕事モードは頼れる上司で  
かっこいいイケオジなのに、恋愛になるとめちゃくちゃかわいい。女子。キューン。キラキラ。  
「パパ嫌い」と言われないように、かっこよさもかわいさも兼ね備えたパーフェクトおっさんに  
なりたいです。エイエイオー！

おさるのアイアイ